

2023.1 新春号

# シーシーエイだより

Cardiovascular hospital of Central Japan



医療法人 北関東循環器病院

〒377-0061 群馬県渋川市北橘町下箱田740

TEL : 027-232-7111

0279-30-2050

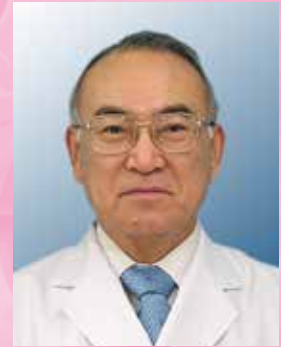
FAX : 027-233-9092

027-288-0305(連携室)

URL : <http://www.ccj.or.jp>



# 2022年を振り返って



北関東循環器病院 理事長 市川 秀一

中国武漢から発生した新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は既に3年経過しようとしており、現在も感染が増加し始め、第8波の渦中にあります。一体いつまで続くのでしょうか？よく言われる100年前のスペイン風邪との比較では、その感染症は3年あまりで収束に向かったとのことですが、現在は世界のグローバル化で人流がその当時と比べものにならず、感染症は収まる方向になってはいません。感染初期に比べ感染の期間があまりに長く、それによる日常生活の制限疲れ、また馴れもあるためか危機意識が薄れてきており、令和5年の新年は感染症以前のような正月にはならないことが予想されます。

ゼロコロナを謳った中国は町をしばしばロックダウンし、経済への影響もさることながら、長引く市民生活そのものの不満が爆発しました。驚くことにそれにより、政府は急激な方針転換をしました。中国はもともと全国的には医療体制そのものの問題があり、方針転換してからまだそれほどの期間が経っていないのにも関わらずコロナ感染症の急激な増加があり、既に全数把握が出来ない状況になっています。死者も既にかなりでており、今後益々増加することが予想されます。

新型コロナウイルスは次々と変異し絶滅することは不可能になっており、これからは人間はウイルスとの共存生活(ウイズコロナ)を考える必要があります。不治の病であった結核、エイズも今も撲滅されたわけではなく、防御システム、薬剤の開発等で共存状態にあるのが現状です。

2022年の漢字は「戦」であります。既に9カ月が過ぎても終わりの見えないロシアとウクライナの戦争が強烈に心に響いてコロナ感染症との戦いを合わせこの漢字になったのでしょうか。どのようにしても文化や伝統の異なる相手国を絶滅することなどは出来ないことを知るべきでしょう。それを踏まえ、指導者たちは「和」、和の心を持って戦いの終結へと早期に導くべきです。この暮れに政府が戦後の安保政策の大転換をはかる防衛費増額を提案し、その財源に対する異論が多々あり来年に持ち越されてはいますが、その方法論を含め国民に納得できる説明が必要です。日本も知らぬ間に戦いの渦中になることを多くの人々が危惧しています。サッカーワールドカップがありました。スポーツの戦いとは訳が違います。戦いが終わり、ノーサイドとはいかないでしょう。ウイルスとの戦いも国家間の戦争に似ていなくもありません。3年も毎日続くコ

ロナの話は、言葉は悪いですが、飽きているのが現状でしょう。そのためか、今は第8波の渦中ですが、何か気が緩み発生初期とは状況がやや異なります。報道によると、基礎疾患のない人のコロナ感染による死亡記事もあり、実際は予断は許されません。少なくとも、ワクチン接種は必ずしておいて欲しいものです。

まだ感染が継続しているのにポストコロナの話は少し早いと思いますが、社会はコロナとの共存後にコロナ以前の状態に戻るのであろうかということがしばしば話題になります。マスク生活も既に当たり前で、以前のように全員がはずせる生活がくるのでしょうか。マスクもファッションの一部となりそのまま継続着用するのが当たり前の状況になるのでしょうか。リモートワークが普通で、対面式が稀な状況はどうなるのでしょうか。就活もリモート、何もかもリモート生活が優先されており、これがどの程度以前の状態になるのか分かりません。サッカーのワールドカップでの日本の活躍はドーハの歓喜となり、日本中を沸かせましたが、多くは暗いニュースばかりが多かった年のような気がします。安部元首相の暗殺、それに伴う統一教会からみの多種多様な問題、昨年開催された2020年東京オリンピックに係わる汚職問題、政治家の規律違反、さらに暮れになり前述した突然の日本の防衛費の増額、原発の再稼働、新設の提案等、日本が何か崩れ落ちる始まりのような様相になっています。

前橋はクリスマスの朝に初雪がありましたが、このところほとんどのところで大雪となっており、連日北日本の各地で大雪警報が出されています。そのような中、当院の現状と将来について少し触れて見ようと思います。以前にも書いたように当院は120床のベットがありますが、45床は障害者病棟で、残りが循環器疾患患者を中心とした病床で運用されています。透析患者もか最近は何りの増加し、それに加え高齢患者も多く、健康弱者が多い病院です。この3年間のコロナ禍で当院も数回のクラスター発生があり、今も時々第8波に襲われることがあります。当院職員は度重なるコロナ感染に対して、その対策にも慣れ、診療に大きな支障は来してはいません。ベット数も限られ、健康弱者がかなり多い当院はこれまでもまた、これからも発熱患者を積極的に診ることは不可能であり、発熱がある外来患者は発熱外来があるところに紹介をしています。当院は開業以来30年以上が経過し、入院病棟も老朽化し、現在は改築の図面起こしの段階ですが、

令和5年中には改築がスタートすることになっています。また、大きなプロジェクトとして当院ではこれまで婦人科診療を週一回行っていましたが、既にこの2022年8月から婦人科診療を毎週水曜に渋川の旧クリニックオガワでも当院が担当してきています。渋川以北で婦人科診療が出来る施設は当院を含め3か所（他の2か所は利根中央病と松井レディースクリニック）しかなく、4月より新たな名称で婦人科診療を常勤医のもとにフルオープンする予定です。当院の婦人科診

療は渋川市のためにも欠かすことができません。産科は常勤医の人数がかなり必要であり、残念ながら現在オープンすることが出来ず、産科は渋川以北では利根中央病院でしかできない状態であります。ですので、婦人科診療だけでも地域医療に少しでも貢献できればと思っています。以上これからも地域医療を主体に少しずつではありますが、歩みを進めて行く所存ですので多大なるご支援をお願い申し上げる次第です。

## 電子カルテシステムを更新いたします。

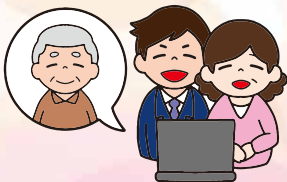
**2023年2月18日(土)午後～19日(日)午後まで  
電子カルテシステム更新のため  
緊急外来の診療を制限させていただきます。**

当院で初めて電子カルテシステムを導入されてから8年半が経過し、この度更新を行うこととなりました。

患者様に近いところでは、再来受付機、診療室への呼び出しや会計待ちの表示などが新しくなる予定です。電子カルテは患者さまが直接見たり、触れたりされることはありませんが、診療には大きな役割を果たしています。患者さまの大切なデータを正しく取り扱えるよう、そして高度で安全な管理を続けてまいります。

この度入れ替え作業を多少の前後は想定されますが、2月18日(土)15時から翌19日(日)18時にかけて実施させていただきます。この更新時間中はシステムを停止することが必要なため、救急外来、緊急患者様受け入れを制限、停止させていただきます。

皆様には大変ご迷惑をおかけしてしまうこととなりますが、何卒ご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



## リモート面会 継続実施中です!

入院患者様、ご家族様には大変ご迷惑をおかけしておりますが、引き続きリモートでの面会をお願いしております。

小さなお子様も面会可能とさせていただきました。

久しく会われておられないお孫さんなどとも画面越しではありますが、面会が出来るようになりました。ご利用ください。



## 外来診療予定表

令和5年1月1日現在

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	初診	松尾 船田	佐藤 船田 (熊倉)	市川(明) 白倉	八木 佐藤	岩崎 佐藤	鈴木忠① 小保方②④ 高山③ 佐藤⑤ (熊倉⑤)
	再診	市川 松尾 眼科(星野) 不整脈(田村①③⑤) 呼吸器(鈴木)	高山 熊倉 市川(明) 心血管外科(中島) 眼科(新井) 糖尿(小和瀬)	岩崎 八木 白倉 腎臓(廣村) 眼科(新井)	高山 船田 心血管外科(中島) 泌尿器科(久保田) 眼科(新井) 眼科(森本)	市川 腎臓(林) 呼吸器(武藤) 眼科(新井) 群大皮膚科	白倉 澤田 鈴木③ 市川(啓)①③ 眼科(新井)
午後	初診	高山	八木	松尾 (熊倉)	市川(明) 循環器内科(交代)② 北條①③④	白倉	午後休診
	再診	熊倉 岩崎 船田 整形(重田) 泌尿器科(久保田)	市川 八木 松尾 心血管外科(中島) 大動脈・静脈瘤(坪井) 群馬大学脳外 眼科(新井) 糖尿(大山①) 市川(明)②③④⑤	高山 佐藤 血管病(熊倉) 眼科(新井) 骨粗鬆症(重田) 泌尿器科(久保田) 糖尿(葭田)	高山 伊藤 心血管外科(中島) 大動脈・静脈瘤(坪井) 北條 シヤント外来 市川(明) 泌尿器科(久保田) ペースメーカー②④	熊倉 整形(重田) 眼科(新井) 婦人科(伊吹)	

### 診療受付時間

8:30~11:30

13:30~16:30

(土曜午後・日曜・祝祭日は休診です)

※急患はこの限りではありません  
24時間いつでもご連絡ください

### 面会原則禁止

現在、感染症対策のため特別な場合を除き入院患者さんとの病棟内での面会はできません。

ご理解とご協力をお願いいたします。

### 案内図

